

下関市立熊野小学校



下関市立熊野小学校は、R3.5.1 現在 全校児童 767 名の大規模校です。学校全体が落ち着いており、始業のチャイムを座って聞くことができ、挨拶もしっかりしてくれる児童が多いそうです。

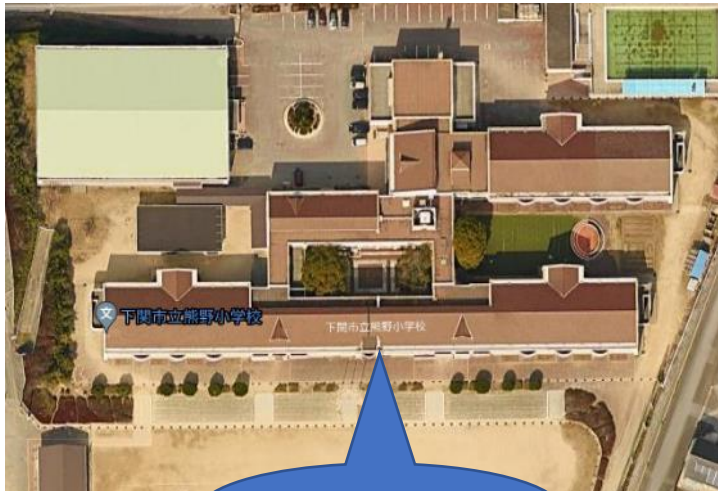
コミュニティ・スクールにも力を入れており、マスコットキャラクター「あいKUMAちゃん」はグッズ展開され、缶バッジを校服や安全帽子、名札につけている児童や教職員も多いとか！

熊野小学校コミュニティ・スクールマスコットキャラクター



そんな熊野小学校の保健室は、横に伸びる教室棟に挟まれた、中央の校舎内にあります。職員室や職員トイレの隣にあるため、先生方がよく立ち寄ってくださったり、廊下に掲示している児童委員会の取組の様子を見て、学級でも意識づけを行ったりして下さるそうです。

本校勤務6年目 柔らかい雰囲気の大ベテランN先生と、本校勤務1年目の新規採用養護教諭として熱い思いを抱き取り組んでおられるT先生のお二人が経営する保健室は・・・



保健室はココ！

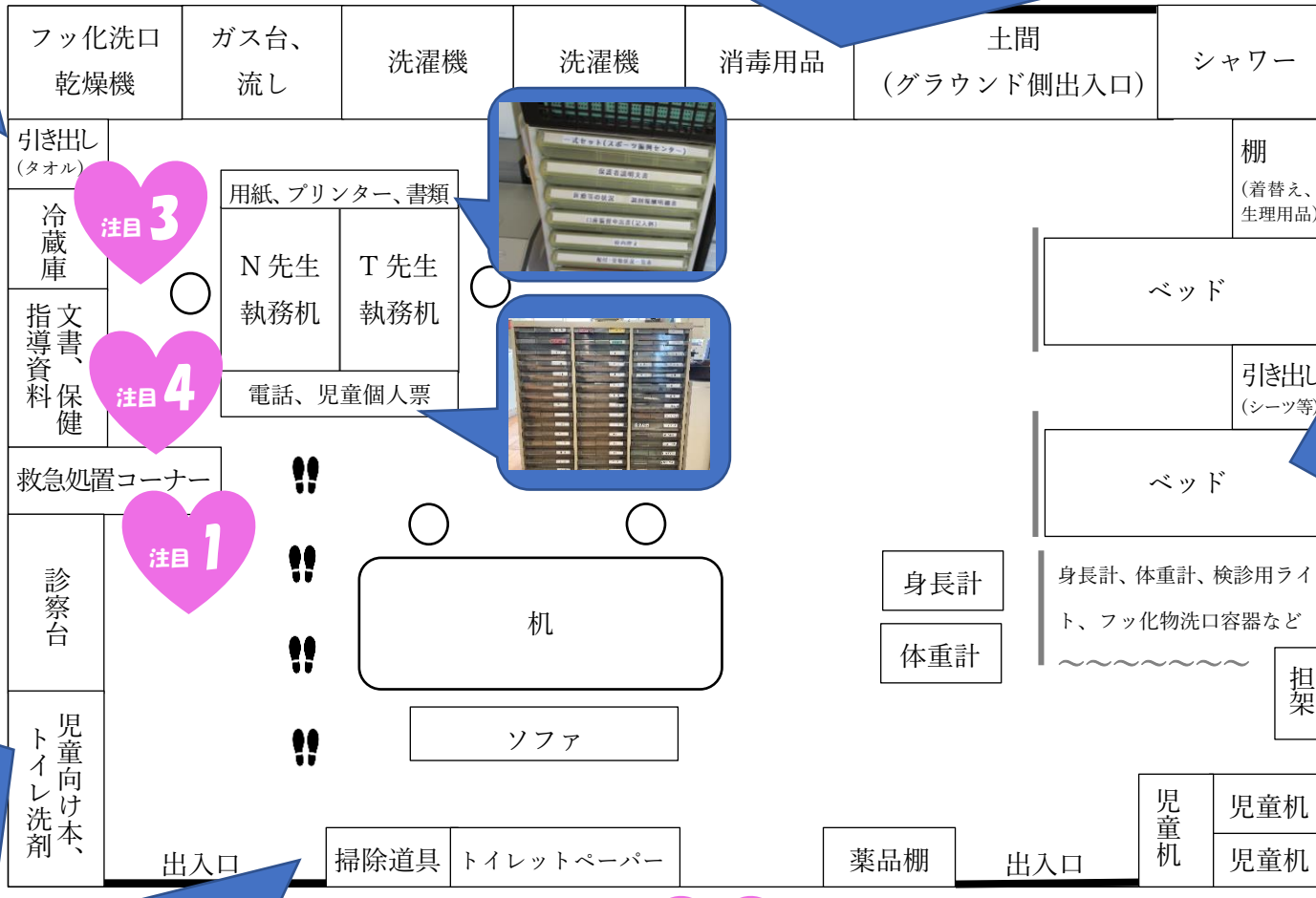


保健室のレイアウト



嘔吐物処理グッズはセットにして持ち出しやすく！
 コロナ対策として、放課後に教室を各担任が、3つの棟のトイレをお二人と校務技師さんがそれぞれ分担して消毒しています。

壁面上の吊り下げ棚には、年度毎にまとめた文書が。廃棄年度も一目瞭然！



注目3

注目4

注目1

注目5

上にはけがと病気の個人記録カード。来室者はここで管理！体調管理に役立ててほしいという願いを込め、卒業時には一人ひとりに返却します。



教室棟
各ブース
注目2

新型コロナウイルス感染拡大で運動会は延期に。学期始めに行う身体計測+保健指導も9月は挨拶なしで、距離をとって対応されたそうです。



全校人数の割に小さい保健室。N先生も「収納が少なくて…」と嘆かれていました。そこでついたてやカーテンを活用し、隙間を上手に使って目隠し収納！すっきりとした空間で、子どもたちも落ち着いて過ごせます。

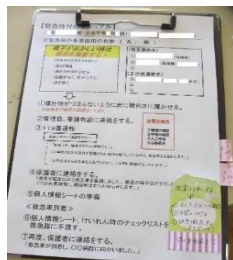


マットレスカバーはベッド枠にかぶせないシンプルなものを。コロナ対策で使用毎に洗っても乾きやすい！



注目1 救急処置

保健室への来室は1日平均40件で、多いときは60件にもものぼるようです。来室対応は、最初は主にT先生が行い、N先生と連携を取りながら進められるそうです。「楽させてもらって〜。」というN先生ですが、経験豊富なN先生と一緒に執務を行うことでT先生もスキルアップされています。羨ましいですね。



児童の預かり薬は目を惹く表示の仕方で、緊急時に誰もが持ち出しやすくされています。併せて緊急時連絡先や対応の流れ、症状のチェックシートもすぐ近くに準備されています。

令和3年度、NHK全国学校音楽コンクール全国大会へ出場する伝統ある合唱クラブ。そんなクラブの夏休み中の練習を支えたのがこちら。熱中症の症状や対応をまとめ、誰でも迅速に手当てができるようにしています。



「自分の言葉で伝える力」、さらには「予防・解決の方法を考える力」を身につけてほしいという思いをもち、日々対応に当たっておられます！

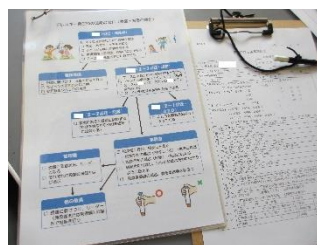


注目2 「チーム熊野」で進める 学校保健活動

児童数も多く、保健室から離れた教室もあるため、児童の健康管理には、教室で日々関わる先生方の協力が欠かせません。迅速かつスムーズに対応ができるよう、各教室棟に様々なグッズが準備されていました。



エピペンは該当学年のブースへ。毛布や緊急時連絡先、対応の流れとセットになっています。



エピペンを処方されている児童のクラスには、役割分担の書かれたマニュアルもセット。

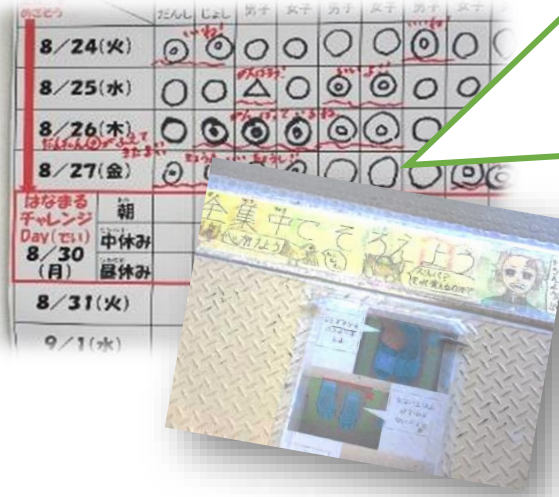


各学年のブースに置いている嘔吐物処理グッズ。視力検査用グッズも時期によっては各学年のブースに置かれます。視力検査は担任の先生が一度行い、B以下の児童の再検査を保健室で行うそうです。

注目3

児童保健委員会

児童の保健管理・学校の環境管理に、日々「全集中」で取り組んでいる児童保健委員会。児童の地道な活動もさることながら、チェック結果への養護教諭のお二人のコメント、担任の先生方による学級での他の児童への意識づけなど、ここでもまさに「チーム熊野」の体制が発揮されていました。



「トイレのスリッパをそろえよう」を目標に、児童がチェックを行っています。毎月1回ある「はなまるチャレンジデー」は、1日に3回チェックする超難関の日。昨年度、全学年◎の完璧！の日は全校放送でお知らせしたそうです。児童は結果の放送を聞き、各教室で拍手喝采！今年度もパーフェクト達成をめざして頑張っています。



ミニタオルの保冷剤入れ。とても可愛くて素敵！

注目4

歯科保健指導



歯磨きカレンダーは、今年から朝昼晩の3回に分けて塗るものに変更したそうです。そうすることで「いつ磨けてないかが分かりやすく、その後の指導につながるんです。」とT先生。集計結果は保健だよりで報告しているそうです。

毎年6月には歯磨き指導が計画されています。養護教諭が作成した教材(学年毎!)を基に、担任がタブレット等も用いて指導を行いました。



注目5

掲示物



T先生渾身の掲示物。「コロナ禍で難しい部分もありますが、めくったり、触れたり仕掛けがある掲示物作りをめざしています。」と教えてくださいました。少しでも児童に興味を持ってもらえるようにという思いが伝わってきます。